

## 欧州における寒波による物流への影響

各種報道の通り、欧州は年明け以降の寒波に加え、北ヨーロッパを襲ったストーム「Goretti」に伴う強風・降雪により大きな被害に見舞われました。本号では、欧州の物流網に発生した深刻な影響について、先週までの情報をまとめてお伝えします。

### 1. 寒波による物流への影響

#### 【航空輸送】

- スキポール空港では 600 便が欠航し、航空会社が除氷（デアイシング）資材不足に直面。ブリュッセル空港でも 120 便以上が欠航し、生鮮品のコールドチェーンで滞留が発生しました。
- パリ（CDG／オルリー）：CDG は 40%、オルリーは 25%の便数が削減されました。

#### 【海上輸送】

- ロッテルダム・ハンブルク・アントワープ：ターミナルの一部閉鎖や深刻な遅延が発生しました。
- ル・アーブル：1月5日、8日と閉鎖されました。1月9日から再開したものの、遅延が予想されています。

#### 【陸上輸送（トラック輸送）】

- トラック規制：フランスでは 38 県で 7.5 トン超のトラックを禁止。パリ地域では 3.5 トン超の車両が制限されました。その結果、渋滞は合計 1,000km 超に達し、集荷が数日間停止しました。
- 国境を越える遅延：ベルギー―フランス国境では 8km 超の車列が発生。オランダでは、トラックのスリップや除雪の遅れにより、700km の渋滞が報告されました。



ハンブルグ港 写真：picture alliance/アフロ

### 2. 今後の見通しについて

当社が現地クレームエージェントを通じて確認した情報によれば、各港のターミナルが閉鎖したことによる物流の乱れは少なからず生じている模様です。港湾のターミナル閉鎖や道路の通行禁止によって貨物移動が麻痺し、鉄道・航空の混乱が遅延をさらに拡大しました。特に温度管理が必要な貨物（生鮮食品、医薬品）は、優先順位付け（トリアージ）や迂回輸送を迫られたため、コールドチェーン物流は大きな打撃を受けました。現在は天候が回復しているものの、引き続き貨物の状況には注視が必要です。



スーパーマーケットの食品売り場（オランダ）写真：ANP Photo/アフロ

※上記情報につきましては、あくまで現時点での状況をご報告するものです。最新情報を常にご確認いただきたく、どうぞよろしくお願いいたします。



本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を払っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。



マリンピックス バックナンバー